



2026 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 ポーターズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 西森 康二
(コード：5126、グロース市場)
問合せ先 取締役 天野 竜人
(Email: ir@porters.jp)

通期業績予想の修正および特別損失の発生見込みに関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 30 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 2 月 13 日の 2025 年 12 月期決算発表時に開示した 2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の業績予想を修正することとしました。また、2026 年 12 月期において特別損失が発生する見込みとなりますので、あわせてお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	2,469	331	331	212	129.95
今 回 修 正 予 想 （ B ）	2,300	201	201	△113	△69.43
増 減 額 （ B - A ）	△169	△130	△130	△325	－
増 減 率 （ ％ ）	△6.9	△39.4	△39.4	－	－
（参考）前期連結実績 （2025 年 12 月期）	2,137	358	368	129	80.18

2. 修正の理由

連結売上高に関して、新規投資事業セグメントにおいて、株式会社 KIKAN flex が開発するソフトウェアのリリース時期の延期並びに atB グループのバングラデシュでの求人メディアの有料獲得求人の獲得に苦戦した結果、当初予想 110 百万円を 106 百万円下回る見込みであります。また、ポーターズセグメント事業においても、株式会社 KIKAN flex のリリース延期に伴うポーターズの導入の消滅及び納品の翌期への後ろ倒しにより、新規顧客の ID 計画が当初予想を下回り、当初予想 2,358 百万円を 62 百万円下回る見込みであります。以上のことから、連結売上高は前回予想を 169 百万円下回る見込みとなりました。

利益面に関して、ソフトウェアのリリース時期の延期により減価償却費などの売上原価が減少したものの、売上の減少に伴う連結営業利益への影響により、連結営業利益及び連結経常利益は前回予想を下回る見込みであります。これに加えて、第 3 四半期連結会計期間において、「3. 特別損失の計上見込み」に記載した特別損失を計上する見込みのため、親会社株主に帰属する当期純利益段階では、減益の見込みとなっております。

3. 特別損失の計上見込み

第3四半期連結会計期間において、当社子会社である株式会社 KIKAN flex が開発投資により計上したソフトウェアなどのソフトウェア資産について、回収可能性の見直しを行った結果、減損損失 304 百万円を計上する見込みです。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な不確定要因により、記載の数値と異なる可能性がありますことをご承知おさください。

以 上